

## 欧米の独立系石油会社



### スウェーデンの経済を支える Preem Petroleum

#### 製油所での地球温暖化対策に本腰

サウジアラビアの投資家 Mohammed Hussein Al Amoudi 氏の Corral Petroleum Holdings の 100%子会社 Preem Petroleum (<http://www.preem.se>) は、スウェーデンにふたつの製油所を保有し、同国で約 500 カ所の給油所を展開しています。

Al-Amoudi 氏は 1994 年に、Preem の前身の OK Petroleum を入手し、1996 年に現在の社名に変更しました。

Preem の Lysekil 製油所(原油処理能力約 210,000 bpd)および Gothenburg 製油所(約 106,000 bpd)は、スウェーデンの原油処理能力の 80%を占めています。

そして「Preem(サウジアラビア)は、スウェーデン有数の輸出業者」([スウェーデン投資庁のホームページ](#))です。

最近よく話題になっている輸出型製油所の草分けです。

同社は、「現在、主にディーゼル油をヨーロッパ西部に、ガソリンを米国に輸出している。その輸出量は同社の生産量の約 65%を占め、さらに増える傾向にある」(2008 年 6 月 10 日、[Nordic News Digest](#)) そうです。

### 環境先進国で

製油所の操業を続けるには先進的な取組みが不可欠です。

Preem は 2007 年の年次報告書に、「我々は製油所で処理する原油の一部を再生可能なバイオマスに置き換えることを検討している。2011 年までにスウェーデンのディーゼル油の 10%を再生可能なバイオマスで製造することを目指している」と記しています。

同社は、非食用の植物の油を石油留分に混合して水素化処理する準備を進めています。

(Web 公開)「世界のエネルギーの話題」(2008 年 8 月 21 日)

「Gothenburg 製油所で、年 10 万トンのバイオ成分と軽油留分を混合処理してバイオディーゼル油を製造」(2008 年 5 月 20 日、Kemivarlden Biotech med Kemisk Tidskrift)します。

再生可能ディーゼル油のことです。

原料のバイオ成分は製紙会社のパルプ製造時に副生する油で、トール油と呼ばれています。

この 6 月に、Preem、国有林業会社 Sveaskog および大規模森林組合 Sodra は、バイオディーゼル油製造会社 SunPine の株式の 60%を共同で取得することにしました。

SunPine の工場では粗トール油を処理し、得られた油を Gothenburg 製油所に運びます。来年、混合処理を開始する予定です。

## CO2 の排出量の少ない水素を

Preem は、サルファーフリーのディーゼル油およびガソリンの製造に使用する水素を天然ガスから製造する計画です。

ノルウェーから Lysekil 製油所まで天然ガスを輸送するパイプラインを建設します。

実現すれば同製油所の CO2 排出量を 8%削減できるそうです。

Preem は以前、「バイオマスのガス化で得られる水素を製油所で使用することも考えて」(2008 年 7 月 4 日、Global Markets Direct Company Profiles)いました。

その後は不明ですが、スウェーデンではそこまで考えなければならないようです。

## ひとつ

モロッコで唯一の石油精製販売会社である Samir が、同国で唯一の「原油処理能力 155,000 bpd の製油所」(2008 年 6 月 11 日、Reuters News)を所有しています。

Corral Petroleum Holdings は、この会社の最大の出資者(約 64.7%)です。

(YY)

(Web 公開)「世界のエネルギーの話題」(2008 年 8 月 21 日)

\*\*\*\*\*

本レポートは、世界の 2500 紙以上の新聞、5500 紙以上のビジネス紙および業界紙、600 以上のニュースワイヤー(速報)/プレスリリース等を検索できるファクティバ(ダウ・ジョーンズ社のデータベースサービス)を利用して入手した多数の記事、レポートを比較、分析して執筆しています。(山崎由廣)